

送受信メニュー ～個別通信時で使用する機能です～

待ち受け画面で“機能” ボタンを約2秒以上押すと、相手と交信可能かどうかの確認、発信履歴、メッセージの確認などの操作をおこなうことができます。

注意

工場出荷では、LC通信に設定されていますので、機能ボタンの長押し（約2秒以上）は無効になっています。

項目	機能
アンサーバック	待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態かを確認することができます（拡張機能F14 アンサーバック設定 ONの場合）。
着信履歴	着信した信号の発信元を、新しい順に表示します（最大10件）。
発信履歴	発信した信号の発信先を、新しい順に表示します（最大10件）。
メッセージ送信	あらかじめ登録されたメッセージ（最大10件）を送信することができます。
メッセージ確認	受信したメッセージを、新しい順に表示します（最大10件）。

アンサーバック

画面に表示された個別表示の相手局に対し、交信できる状態かを確認することができます。

注意

この機能は ALL とグループでは利用できません。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを2秒以上押します。
- ② “アンサーバック” が選択されていることを確認し、“選択” ボタンを押します。
拡張機能F14 アンサーバック設定 OFF の場合は無効になり、送信状態になりません。
- ③ 送信状態になり、相手局に対して「問い合わせ」の信号を送出して、その後結果を表示します。

応有：相手局と交信可能な状態です。

応無：「相手局の電源が入っていない」、「距離が離れすぎている」などの原因で、相手局と交信できない状態です。

補足

相手局が VX-D291U 及び VXD-10 の場合は、この機能に対応していないため、交信できる状態であっても“応無”となります。

- ④ “戻る” ボタンを押します。
結果を表示させる前の画面に戻ります。

アンサーバック
着信履歴 ▶
発信履歴 ▶
[選択] : 問合せ

CH
コベツ 002
問合 個別

CH
コベツ 002
応有 個別

問い合わせの結果

着信履歴

これまでに着信した信号の発信元を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン（通話ボタン）を押すと、表示されている ID の相手呼び出すことができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを 2 秒以上押します。
- ② ロータリースイッチをまわして“着信履歴”を選択し、“選択”ボタンを押します。
- ③ 着信履歴が表示されます。

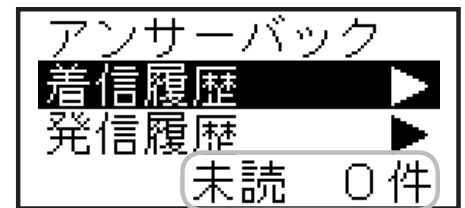
補足

- ロータリースイッチをまわすと、着信履歴を切り換えることができます。
- ▶ ボタンを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます（▶ ボタンでキャンセル）。
- PTT ボタン（通話ボタン）を押すと、選択されている ID の相手呼び出すことができます。

注意

ユーザーコード“000”を着信した場合、着信履歴に残りません。

- ④ “戻る”ボタンを押します。
着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。
電源スイッチを切ると履歴はクリアされます。



未読件数

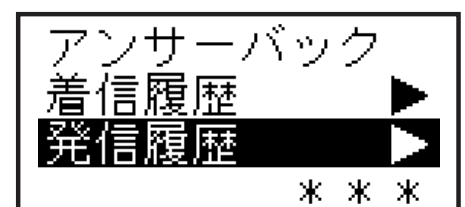
発信履歴

これまでに発信した信号の発信先を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン（通話ボタン）を押すと、表示されている ID の相手呼び出すことができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを 2 秒以上押します。
- ② ロータリースイッチをまわして“発信履歴”を選択し、“選択”ボタンを押します。
- ③ 発信履歴が表示されます。

補足

- ロータリースイッチをまわすと、発信履歴を切り換えることができます。
- ▶ ボタンを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます（▶ ボタンでキャンセル）。



次ページに続く

- PTT ボタン（通話ボタン）を押すと、
選択されている ID の相手を呼び出す
ことができます。

④ “戻る” ボタンを押します。

発信履歴を表示させる前の画面に戻ります。

電源スイッチを切ると履歴はクリアされます。

メッセージ送信

あらかじめ登録されたメッセージ（最大 10 件）を送信することができます。

※メッセージの設定は、販売店にご相談ください。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを 2 秒以上押します。

- ② ロータリースイッチをまわして“メッセージ送信”を選択し、“選択” ボタンを押します。

- ③ ロータリースイッチをまわして送信したいメッセージを選択し、“選択” ボタンを押します。

- ④ 再度“選択” ボタンを押すと、選択したメッセージを送信します。

メールマークが点滅します。

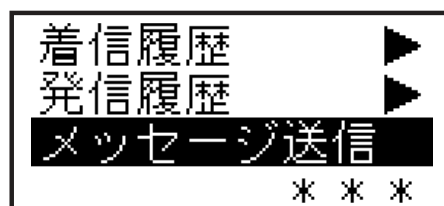
- ⑤ 個別宛先で送信した場合に限り、相手局に正しくメッセージが届いたかどうかの結果を表示します。

応有：正しくメッセージが届いた場合。

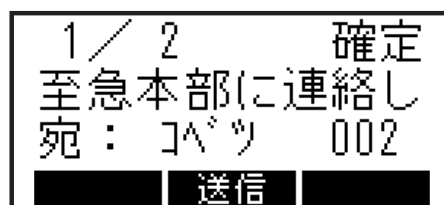
応無：正しくメッセージが送られなかった場合。

- ⑥ “戻る” ボタンを押します。

メッセージを送る前の画面に戻ります。



メッセージを選択



メッセージを受信すると、ディスプレイに“”マークが点滅し、同時にメッセージを表示（スクロール）します。

メッセージを確認後“戻る” ボタンを押すと、メッセージを受信する前の状態に戻ります。



VX-D291U 及び VXD-10 にメッセージを送ることはできません。

メッセージ確認

これまでに受信したメッセージを、新しい順に最大 10 件まで表示することができます。

① 待ち受け画面で“機能” ボタンを 2 秒以上押します。

② ロータリースイッチをまわして“メッセージ確認”を選択し、“選択” ボタンを押します。

③ メッセージの着信履歴が表示されます。

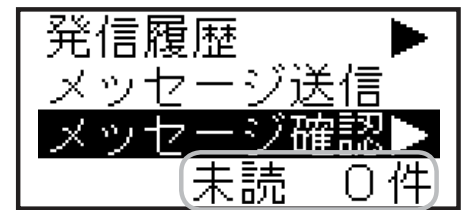


- ロータリースイッチをまわすと、着信履歴を切り換えることができます。
- ► ボタンでを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます (► ボタンでキャンセル)。

④ “戻る” ボタンを押します。

着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。

電源を切ると履歴はクリアされます。



未読件数

拡張機能 ～コールモード～

自局 ID、UC（ユーザーコード）、秘話 ID など、通信時に使用する情報や機能の設定（12 項目）をおこなうことができます。

項 目	初期値	設定値	機 能
C01 通信方式	UC 通信	個別通信 / UC 通信	通信方式の選択
C02 UC	000	000 ～ 511	UC（ユーザーコード）の設定
C03 UC ベル	0 回	0 ～ 3 回	同一 UC 呼び出し電子音の回数設定
C04 自局 ID	001	001 ～ 200	自局 ID の設定
C05 グループ ID	201	201 ～ 230	グループ ID の設定
C06 個別ベル	1 回	0/1/2/3/4/5 回	個別呼び出し時の電子音の回数設定
C07 グループベル	0 回	0/1/2/3 回	グループ / 一斉呼び出し時の電子音の回数設定
C08 個別宛先	可変	可変 / 固定	個別通信時の呼び出し先表示の設定
C09 固定宛先	000	000 ～ 230	個別通信の待ち受け画面に表示させる相手局の ID 設定
C10 緊急個別 ID	***	000 ～ 255	緊急を知らせたい相手局の ID 設定
C11 通話保持時間	5 秒	5/10/15/30/60 秒	個別通信時の通話保持時間の設定
C12 秘話 ID	OFF	OFF/\$01 ～ \$20	プリセット秘話コード（秘話 ID）の選択。 あらかじめ \$01 ～ \$20 に、最大 20 種類の秘話コードをプリセット可能。

拡張機能（コールモード）の基本的な操作方法を右ページに記します。

各項目の具体的な操作方法は、36 ページ以降を参照してください。

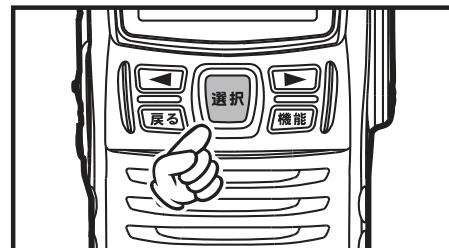
補足

拡張機能（セットモード）の詳細は、44 ページ以降を参照してください。

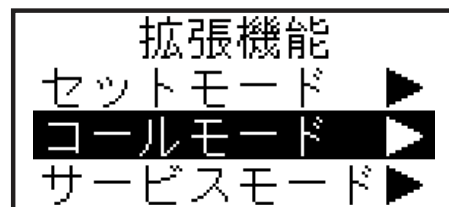
注意

拡張機能（サービスモード）は、サービスマン専用のモードです。
故意に設定すると無線機が使用できなくなることがあります。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。

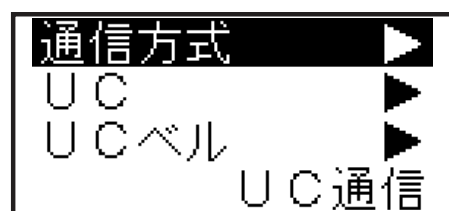


- ② ロータリースイッチをまわして“コールモード”を選択します。
- ③ “選択” ボタンを押します。



補足

- パスワードの入力画面が表示された場合、コールモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
 - パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。
 1. ロータリースイッチで数字を選択します。
 2. ◀/▶ ボタンで桁を移動させ、ロータリースイッチで数字を選択します。
 3. 入力が終わったら“選択” ボタンで決定します。
 4. 正しいパスワードが入力されると、コールモードの画面が表示されます。
- ④ ロータリースイッチをまわして、設定したい項目を選択します。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
- ⑥ ロータリースイッチをまわして、設定値を変更します。
- ⑦ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



C01 通信方式 ～通信で使用する機能です～

UC 通信と個別通信を切り換えることができます。

① 35 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“通信方式”の表示にあわせませう。

現在の通信方式が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の通信方式を選択します。

UC 通信 : UC 通信方式で運用するとき。

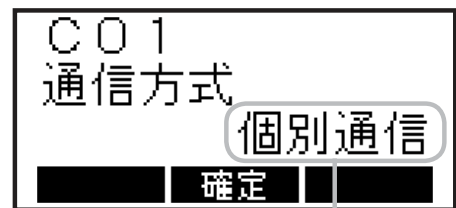
個別通信 : 個別通信方式で運用するとき。

⑤ “選択” ボタンを押します。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の通信方式



通信方式

C02 UC ～UC 通信で使用する機能です～

UC(ユーザーコード)を変更することができます。

① 35 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“UC”の表示にあわせませう。

現在のユーザーコードが表示されます。



○ ユーザーコードの代わりに“CH”が表示される場合は、すでにチャンネルごとにユーザーコードが設定されており、変更することができません。

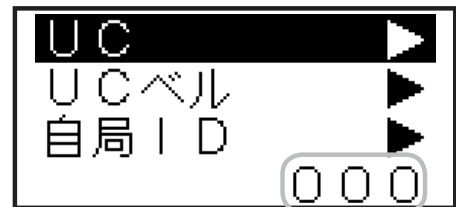
○ 現在の値が表示されていても、次の③の操作にて“選択”ボタンを押しても値が変更できない場合は、販売店によりユーザーコードの変更が禁止された状態になっています。

これらの状態でユーザーコードの変更が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

③ “選択” ボタンを押します。

ユーザーコードの百の桁で、カーソルが点滅します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。



現在のユーザーコード

次ページに続く

注意

- 設定できるユーザーコードは“000”～“511”です（512以上の数字にあわせることはできませんが、設定することはできません）。
- ユーザーコードの“000”は、特別なユーザーコードとして扱われ、受信時は、ユーザーコードが異なる信号も受信できますが、送信時は“000”を設定している相手としか、通信することができません。



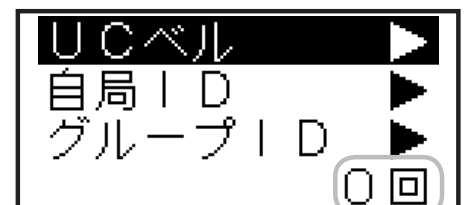
ユーザーコード

- ⑤ ▶ ボタンを押すと、カーソルが右の桁に移動します。
◀ ボタンを押すと、カーソルが左の桁に移動します。
- ⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、3桁のユーザーコードを設定します。
- ⑦ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると変更は終了です。

C03 UC ベル ～ UC 通信で使用する機能です～

UC 通信で運用中、同一 UC の他局から呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

- ① 35 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“UCベル”の表示にあわせませす。
現在の設定回数が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の回数を選択します。
設定できる回数は“0回”～“3回”です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

補足

- UC ベル 回数 “1 回” ～ “3 回” を設定すると、同一 UC で着信した場合、呼び出し音が鳴ると同時に画面に“-Called-” が応答送信するまで、または他のボタン操作するまで表示を継続します。
- UC ベルは、5 秒以内の繰り返し呼び出しの場合、呼び出し音はなりません。

C04 自局 ID ～個別通信で使用する機能です～

無線機に設定されている自局の ID（自局の個別番号）を変更することができます。

- ① 35 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“自局 ID” の表示にあわせます。
現在の自局 ID が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。

補足

自局 ID の個別番号は 001 ～ 200 まで選択が可能です。お買い上げの販売店であらかじめ使用する無線機の台数に合わせて個別番号だけを設定し登録することが可能です。登録をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると変更は終了です。



現在の自局 ID



自局 ID

C05 グループ ID ～個別通信で使用する機能です～

無線機に設定されているグループ ID を変更することができます。

- ① 35 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“グループ ID” の表示にあわせます。

現在のグループ ID が表示されます。

補足

現在のグループ ID に“ALL”が表示されている場合は、販売店により複数のグループ ID が登録されています。変更が必要な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

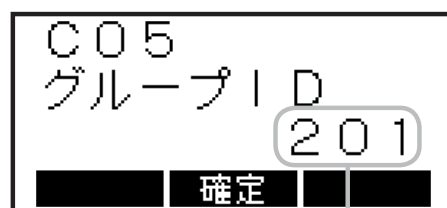


現在のグループ ID

- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の ID を選択します。

補足

グループ ID は 201 ～ 230 まで選択が可能です。お買い上げの販売店であらかじめ使用するグループ ID だけを設定し登録することが可能です。登録をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



グループ ID

- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると変更は終了です。

C06 個別ベル

個別呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

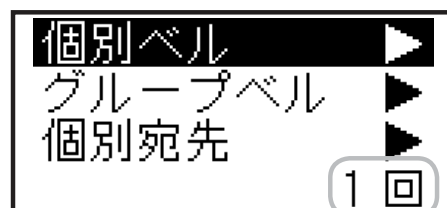
- ① 35 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“個別ベル” の表示にあわせます。

現在の電子音が鳴る回数が表示されます。

- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の回数を選択します。

設定できる回数は“0”～“5”です。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数

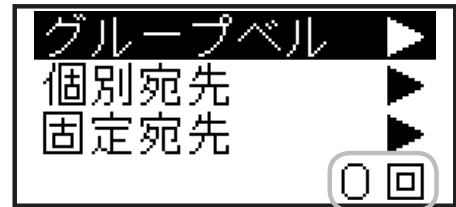


電子音が鳴る回数

C07 グループベル

グループ / 一斉呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

- ① 35 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“グループベル”の表示にあわせます。
現在の電子音が鳴る回数が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の回数を選択します。
設定できる回数は“0”～“3”です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数

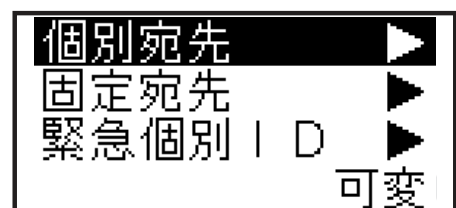


電子音が鳴る回数

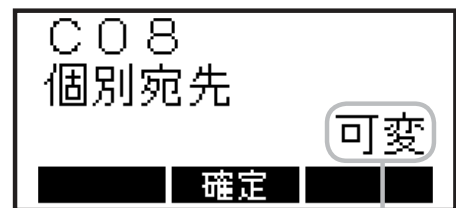
C08 個別宛先 ～個別通信で使用する機能です～

応答待ち時間（通話タイマー）が経過して、待機状態に戻る際の、呼び出し先表示の条件を設定することができます。

- ① 35 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“個別宛先”の表示にあわせます。
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の表示方法を選択します。
可変：直前の通話で設定した呼び出し先のIDを表示します。
固定：あらかじめ設定している（C09 固定宛先で設定）呼び出し先のID表示に変わります。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

C09 固定宛先 ～個別通信で使用する機能です～

個別通信の待ち受け画面に表示させる、相手局の ID を設定します。

① 35 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“固定宛先”の表示にあわせます。

現在設定されている ID が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

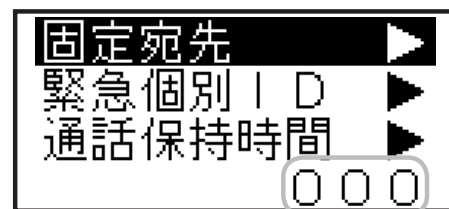
④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。

設定できる ID は“000”～“230”です。

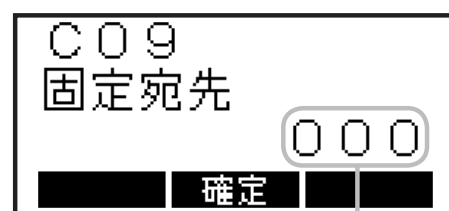
“ALL”一斉呼び出しは“000”、“個別”呼び出し設定は“001”～“200”の呼び出し ID 番号を、“グループ 01～30”で呼び出しを設定するときは“201”～“230”を設定します。

補足

お買い上げの販売店であらかじめ使用する固定宛先を設定し登録することが可能です。登録をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



現在の固定宛先 ID



固定宛先 ID

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

C10 緊急個別 ID ～個別通信で使用する機能です～

出荷時の設定は、同一ユーザーの全員に緊急を知らせる“緊急一斉”に設定されていますので、本設定を行うことはできません。

緊急を知らせたい相手局の ID を変更できる“緊急個別”方式への変更は、お買い上げの販売店にご相談ください。

◎ 緊急一斉

同じユーザーの全ての局に対し、一斉に緊急を知らせることができます。

◎ 緊急個別

特定の相手局にだけ、緊急を知らせることができます。

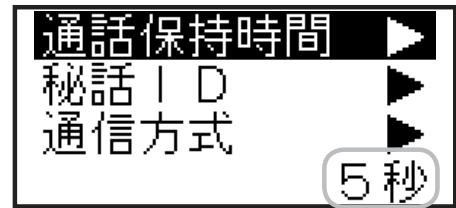
補足

本設定は、F06 緊急モードの設定を“S”，“T”または“BP+T”に設定した時に動作する機能です。緊急時に知らせる相手先を設定します。

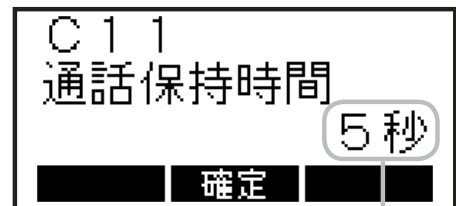
C11 通話保持時間

応答待ち時間（通話タイマー）の時間を設定することができます。

- ① 35 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“通話保持時間”の表示にあわせます。
現在の設定時間が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望する応答待ち時間を選択します。
設定できる時間は“5 秒”、“10 秒”、“15 秒”、“30 秒”、“60 秒”です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定時間



設定時間

C12 秘話 ID

秘話通信機能の動作を、ON/OFF することができます。

秘話通信機能を使用するには、あらかじめ秘話コードを設定しておく必要があります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

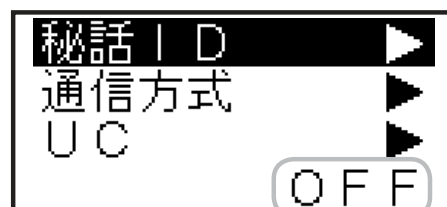
① 35 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② □-タリ-スイッチをまわして、“秘話 ID” の表示にあわせます。

現在の設定が表示されます。



“ALL OFF” が表示される場合は、秘話機能の使用が禁止されていますので、設定を行うことはできません。



現在の設定

③ “選択” ボタンを押します。

④ □-タリ-スイッチをまわして、秘話通信機能の OFF または秘話コードを選択します。

“\$01 ～ \$20”：設定した秘話コードで秘話機能が動作します。

“OFF”：秘話通信機能が OFF になります。



設定

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

補足

- 秘話通信機能が動作しているときは、ディスプレイに“**秘**”が点灯します。
- 交信したい相手の無線機にも、同じ秘話コードが設定されていないと、交信することはできません。
- お互いの秘話コードが異なる場合は、相手の音声を電氣的に秘話処理した電子音が聞こえるだけで、通話内容を正しく聞き取ることができません。
- 秘話信号を受信すると、LED ランプが青色で点滅します。
- 秘話通信機能が動作しているときに送信すると、LED ランプが青色で点灯します。

拡張機能 ～セットモード～

本機に内蔵された、各機能の設定（18 項目）をおこなうことができます。

項 目	初期値	設定値	機 能
F01 ビープレベル	08	00 ～ 15	操作音（ビープ音）の音量設定
F02 外部マイク	0	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18	外部マイクの感度設定
F03 内部マイク	0	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18	内部マイクの感度設定
F04 ロータリー	チャネル	チャネル /ID	ロータリースイッチの動作設定
F05 キーロック	前面	PTT/ 前面 / 上部 / 全て / 前面+上部	キーロックの動作設定
F06 緊急モード	BP	BP/T/S/BP+T/OFF	緊急モードの動作設定
F07 TX ビープ	OFF	ON/OFF	送信開始時の電子音設定
F08 RX ビープ	OFF	ON/OFF	相手局の送信終了音の設定
F09 ローンワーカー	OFF	ON/OFF	PTT 無操作で 60 分経過すると自動的に緊急モードになる動作設定
F10 ノイズキャンセル	ON	ON/OFF	ノイズキャンセル機能の設定
F11 送信出力制限	High 有効	High 有効 /Low 固定 受信専用	送信出力の設定
F12 弱電界アラーム	OFF	ON/OFF	受信信号が極端に弱い場合に鳴るアラームの設定
F13 不在着信ベル	OFF	OFF/ 5 秒毎 × 2 2 秒毎/1 分毎/ 連続	個別着信時に応答しなかった場合に鳴るベルの設定
F14 アンサーバック	OFF	ON/OFF	相手局に電波が届いているかを確認する機能の設定
F15 電池残量表示	リチウム	リチウム / アルカリ	使用する電池の種類を選択
F16 ACC 電源	ON	ON/OFF	オプションユニットの電源供給設定
F17 GPS モード	ポーリング	ポーリング / 定期送信	GPS による自局の位置情報送出条件の設定
F18 設定リセット	—	—	拡張機能の設定を初期値（ご購入時の状態）に戻します

セットモードの基本的な操作方法を右ページに記します。

各項目の具体的な操作方法是、46 ページ以降を参照してください。

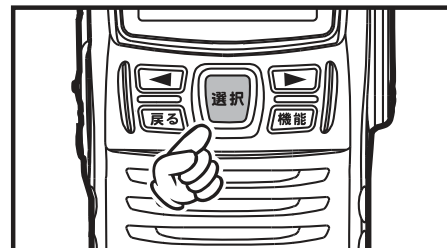
補足

拡張機能（コールモード）の詳細は、34 ページ以降を参照してください。

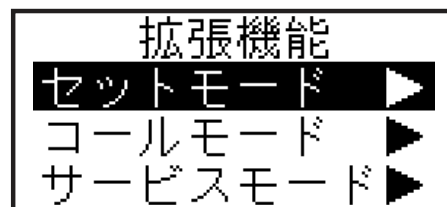
注意

拡張機能（サービスモード）は、サービスマン専用のモードです。
故意に設定すると無線機が使用できなくなることがあります。

- ① 一度電源を切り、“選択” ボタンを押しながら電源を入れ、拡張機能の選択画面が表示されたら“選択” ボタンを放します。



- ② ロータリースイッチをまわして“セットモード”を選択します。
- ③ “選択” ボタンを押します。



補足

- パスワードの入力画面が表示された場合、セットモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
- パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。
 1. ロータリースイッチで数字を選択します。
 2. ◀/▶ ボタンで桁を移動させ、ロータリースイッチで数字を選択します。
 3. 入力が終わったら“選択” ボタンで決定します。
 4. 正しいパスワードが入力されると、セットモードの画面が表示されます。

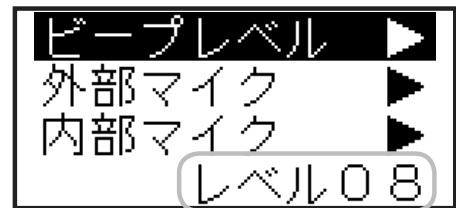
- ④ ロータリースイッチをまわして、設定したい項目を選択します。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。
- ⑥ ロータリースイッチをまわして、設定値を変更します。
- ⑦ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



F01 ビープレベル

ボタンやスイッチを押したときに鳴る確認音の、音量を設定することができます。

- ① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“ビープレベル”の表示にあわせます。
現在の音量レベルが表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の音量を選択します。
設定できる音量レベルは“00”～“15”です。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の音量レベル

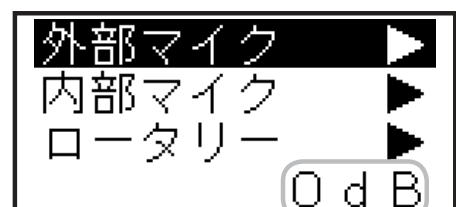


音量レベル

F02 外部マイク

外部マイク口ホンのマイク感度を設定することができます。

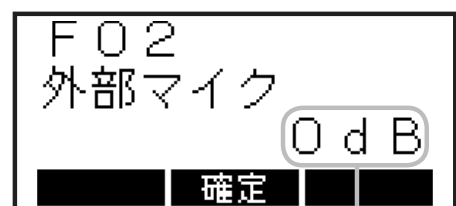
- ① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“外部マイク”の表示にあわせます。
現在のマイク感度が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の感度を選択します。
マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。



現在のマイク感度

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



マイク感度

F03 内部マイク

マイク感度を設定することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“内部マイク”の表示にあわせます。

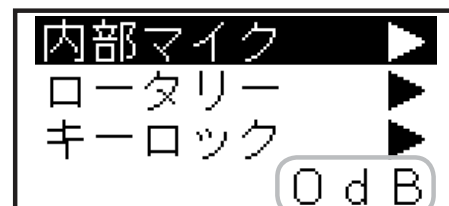
現在のマイク感度が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の感度を選択します。

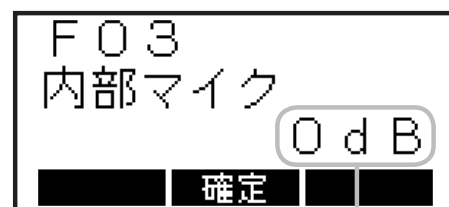
マイク感度は、下記の 8 段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)



現在のマイク感度

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



マイク感度

F04 ロータリー

ロータリースイッチの動作を変更することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“ロータリー”の表示にあわせます。

現在の動作が表示されます。

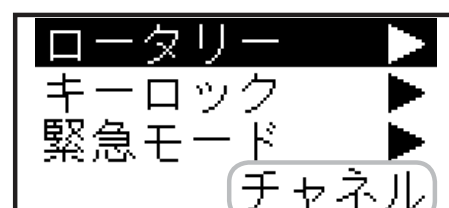
③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の動作を選択します。

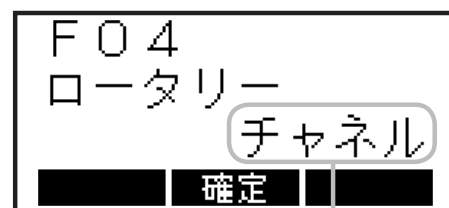
チャンネル : ロータリースイッチをまわすと、運用チャンネルが変わります。

ID : ロータリースイッチをまわすと、呼び出し先 ID が変わります。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の動作



動作

F05 キーロック

ロック機能を動作させたときの、ロックさせる条件を設定することができます。

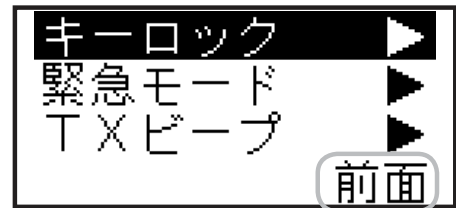
① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“キーロック”の表示にあわせます。

現在の動作が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望のロック範囲を選択します。



現在の設定

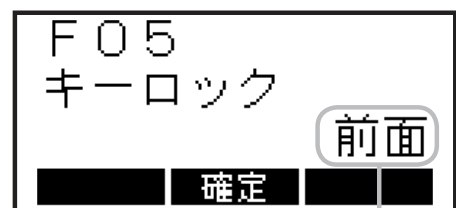
前面 : 無線機前面（側面を含む）にあるボタンがロックされます。

上部 : ロータリースイッチとコールチャンネルボタンがロックされます。

全て : PTT ボタンを含めた、上部、前面（側面を含む）の各ボタン、及びロータリースイッチがロックされます。

前面＋上部 : PTT ボタンを除く、上部、前面（側面を含む）の各ボタン及びロータリースイッチがロックされます。

PTT : PTT ボタンだけがロックされます。



設定

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

補足

- バックライトボタン、キーロックボタン、緊急ボタンはロックされません。
- 本機を“受信専用機”として使用する場合は、送信操作を禁止するために“PTT”に設定してください。

F06 緊急モード

緊急アラーム機能の動作を設定することができます。

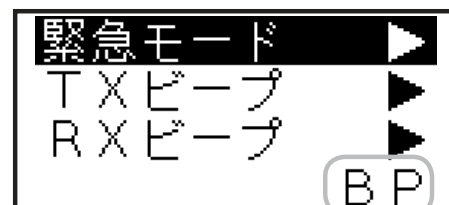
① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“緊急モード”の表示にあわせます。

現在の動作が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の動作を選択します。



現在の動作

BP : 無線機のスピーカーから、緊急アラームを鳴らします。

T : 自局のIDを含んだ緊急信号を送出します。また、緊急動作中にPTTボタン（通話ボタン）を押すと、相手局と通話することができます。

補足

この設定は、個別通信時のみ動作します。

S : サイレント状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示とLEDは緊急動作中も変化しません。また、緊急動作中にPTTボタン（通話ボタン）を押すと、相手局と通話することができます。

補足

この設定は、個別通信時のみ動作します。

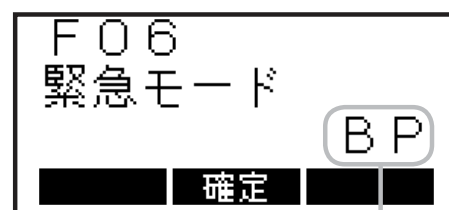
BP+T : 上記“T”の動作を行った後、“BP”の動作を行います。

補足

この設定は、UC通信時に“BP”の動作を行います。

OFF : 緊急アラーム機能は動作しません。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



動作

F07 TX ビープ

送信開始時に、通話ができる状態になったことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“TX ビープ” の表示にあわせます。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、TX ビープのON /OFF を選択します。

ON : TX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。

OFF : TX ビープの動作が OFF になります。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F08 RX ビープ

受信中の通話が終了したことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。

個別通信時または、“000” 以外の同じユーザーコードに設定してある相手局の信号を受信した時のみ動作します。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“RX ビープ” の表示にあわせます。

現在の設定が表示されます。

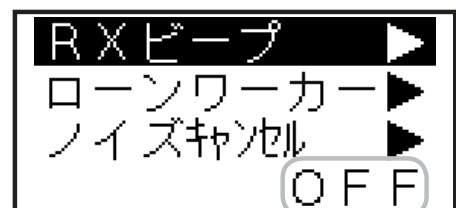
③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、RX ビープの ON/OFF を選択します。

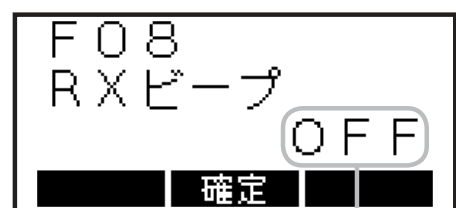
ON : RX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。

OFF : RX ビープの動作が OFF になります。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F09 ローンワーカー

60 分の間、本機の送信（PTT）ボタンが操作されない場合、自動的に緊急モードになるローンワーカー機能が動作します。

定期連絡が途絶えた場合などに、自動的に緊急を知らせることができる便利な機能です。

操作及び動作は 25 ページを参照してください。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“ローンワーカー”の表示にあわせます。

現在の設定が表示されます。

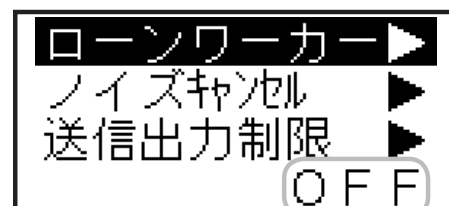
③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、ローンワーカーの ON /OFF を選択します。

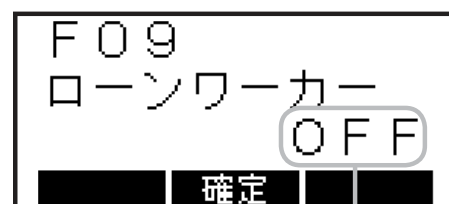
ON：ローンワーカー機能が ON になります。

OFF：ローンワーカー機能が OFF になります。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F10 ノイズキャンセル機能

周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信する「ノイズキャンセル機能」をON/OFF することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“ノイズキャンセル”の表示にあわせます。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、ノイズキャンセル機能の ON/OFF を選択します。

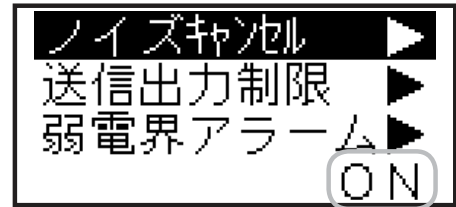
ON : ノイズキャンセル機能が動作します。

OFF : ノイズキャンセル機能が OFF になります。

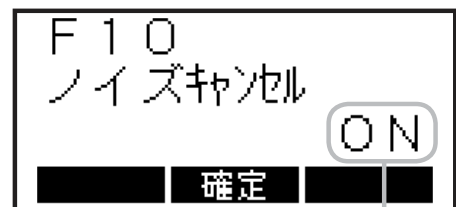
補足

ノイズキャンセル機能を“ON”にする際は、“F02 外部マイク”および“F03 内部マイク”の設定を“0dB”以下にしてください。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F11 送信出力制限

送信出力（発射する電波の強さ）を“5W”と“1W”から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を“1W”に、また、本機を受信専用機として使用する場合は“受信専用”に設定してください。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“送信出力制限”の表示にあわせます。

現在の設定が表示されます。

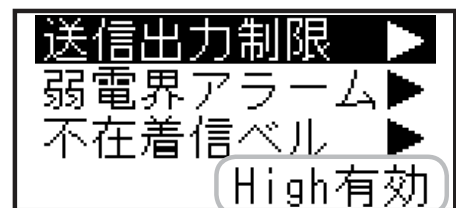
③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の設定を選択します。

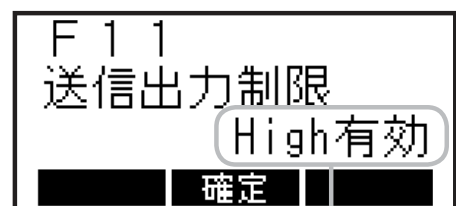
High 有効 : 送信出力が 5W に設定されます。

Low 固定 : 送信出力が 1W に設定されます。

受信専用 : PTT ボタン（通話ボタン）を押しても、送信しなくなります。



現在の設定



設定

次ページに続く

- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

補足

ご購入時の設定で、周波数ごとの送信出力設定が“Low”に設定されている場合は、上記の設定を“High 有効”にしても、実際の送信出力は“Low 固定”(1W)となります。

F12 弱電界アラーム

受信している信号が、極端に弱くなったことを知らせるアラーム音を、ON/OFF することができます。

- ① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

- ② ロータリースイッチをまわして、“弱電界アラーム”の表示にあわせます。

現在の設定が表示されます。

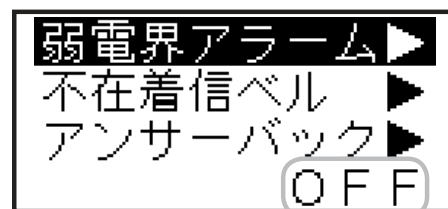
- ③ “選択” ボタンを押します。

- ④ ロータリースイッチをまわして、弱電界アラームの ON/OFF を選択します。

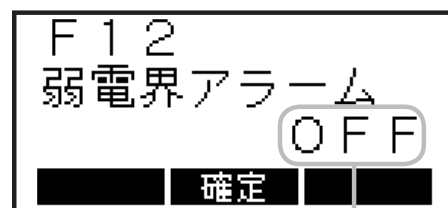
ON : 受信信号が極端に弱くなると、アラーム音が鳴ります。

OFF : 弱電界アラームの動作が OFF になります。

- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F13 不在着信ベル ～個別通信で使用する機能です～

相手からの個別呼び出しを受けた後、応答しなかった場合、設定した条件でベル（電子音）を鳴らすことができます。

なお、“グループ呼び出し”や“一斉呼び出し”での着信の場合は、ベルは鳴りません。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“不在着信ベル”の表示にあわせます。

現在の設定が表示されます。

③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の設定を選択します。

OFF : 不在着信ベルの動作が OFF になります。

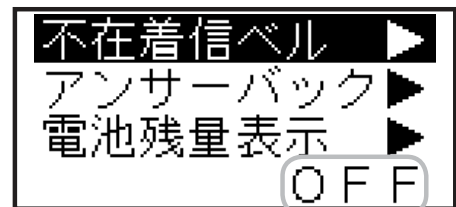
5 秒毎×2 : 着信後、5 秒間経過するとベルが鳴り、更に 5 秒間経過すると再度ベルが鳴ります。

2 秒毎 : 着信後 2 秒毎にベルが鳴ります。

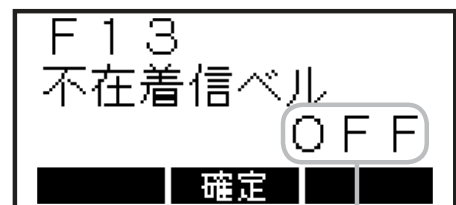
1 分毎 : 着信後 1 分毎にベルが鳴ります。

連続 : 着信するとベルが鳴り続けます。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F14 アンサーバック ～個別通信で使用する機能です～

アンサーバック機能を、ON/OFF することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“アンサーバック”の表示にあわせます。

現在の設定が表示されます。

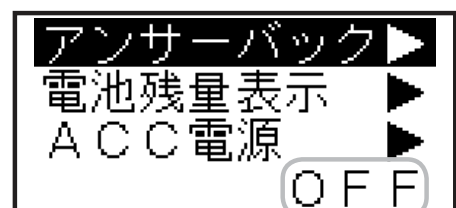
③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、アンサーバックの ON/OFF を選択します。

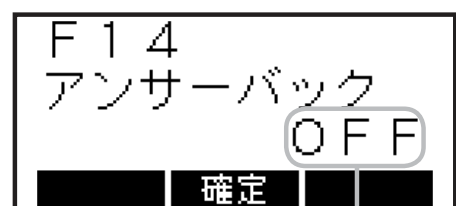
ON : アンサーバック機能を使用できます。

OFF : アンサーバック機能が OFF になります。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F15 電池残量表示

ディスプレイの“電池残量表示”の精度を上げるため、使用する電池の種類を設定してください。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“電池残量表示”の表示にあわせます。

現在の設定が表示されます。

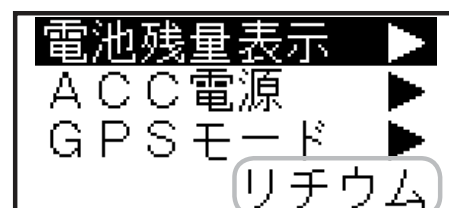
③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、使用する電池パックの種類にあわせます。

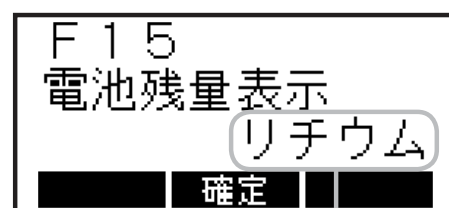
リチウム：リチウムイオン電池パックを使用する際に選択します。

アルカリ：アルカリ電池を使用する際に選択します。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F16 ACC 電源

オプションユニットを装着した際、オプションユニットへの電源供給をON/OFF することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“ACC 電源”の表示にあわせます。

現在の設定が表示されます。

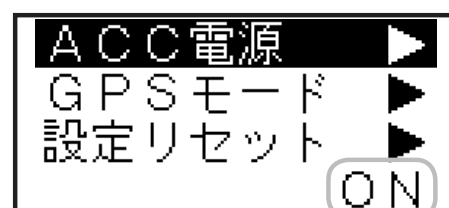
③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、電源供給のON/OFF を選択します。

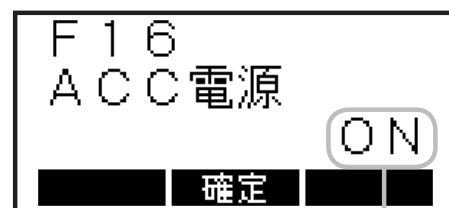
ON：オプションユニットに電源を供給します。

OFF：オプションユニットへの電源供給は行いません。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

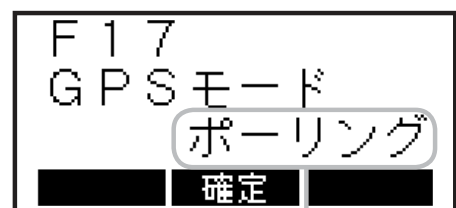
F17 GPS モード

GPS による、自分の位置情報の送出条件を設定します。なお、位置情報の送出には、オプションの GPS ユニットが必要です。

- ① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“GPS モード” の表示にあわせます。
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の設定を選択します。
ポーリング：他の局から要求があったときのみ、自局の位置情報を送出します。
定期送信：一定時間ごとに、自局の位置情報を送出します。
- ⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

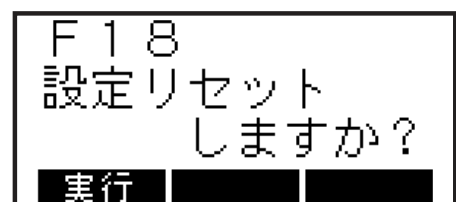
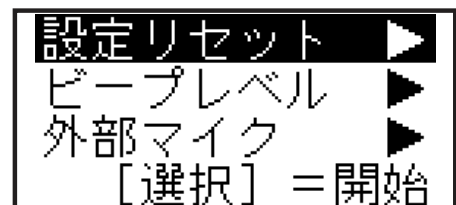


設定

F18 設定リセット

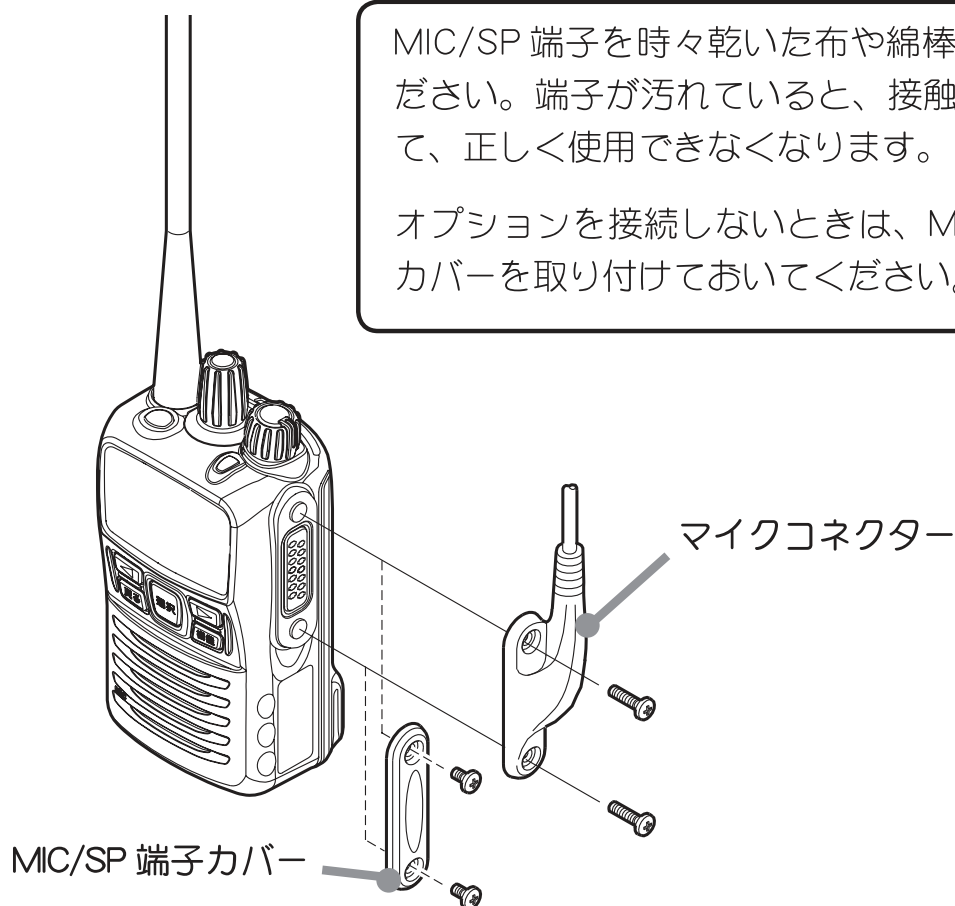
拡張機能の設定を、ご購入時の状態（販売店設定値）に戻すことができます。

- ① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“設定リセット” の表示にあわせます。
- ③ “選択” ボタンを押します。
- ④ “◀” ボタンを押すと、設定がリセットされます。
リセットを中止する場合は、“戻る” ボタンを押してください。



オプションマイクの取り付け

MIC/SP 端子カバーのビスを外し、マイクコネクタに付属のビスで取り付けます。



MIC/SP 端子を時々乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れていると、接触不良になって、正しく使用できなくなります。

オプションを接続しないときは、MIC/SP 端子カバーを取り付けておいてください。

オプションマイクの感度切り替え方法

オプションマイクを使用した際、マイク感度を調節することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“外部マイク”を表示させて、“選択”ボタンを押します。

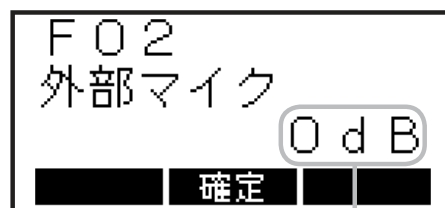
③ ロータリースイッチで希望の感度を選びます。

マイクの感度は、下記の 8 段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” (標準) ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

④ “選択” ボタンを押します。

⑤ 電源を切ると設定は終了です。



マイク感度

キャリングケース“LCC-D450”の使いかた

LCC-D450は、“FNB-V86シリーズ”または“FNB-V87シリーズ”を装着したVXD450Rで使用することができます。

1. キャリングケース“LCC-D450”に、VXD450Rを入れます。

※ ホールド性を良くするために、若干きつく作られています。



2. 電池パックの角とキャリングケース背面カバーの折り目を合わせます。



3. キャリングケース前面カバーの穴を、背面カバーのボタンに通します。



注意

VXD450R 底面にある、ノイズキャンセリングマイク孔が塞がっていないことを確認してください。塞がっていると、ノイズキャンセルの効果を得られない場合があります。



4. ショルダーベルト取り付け金具を前方向に押し付けながら、マジックテープを金具の外側からしっかりととめてください。

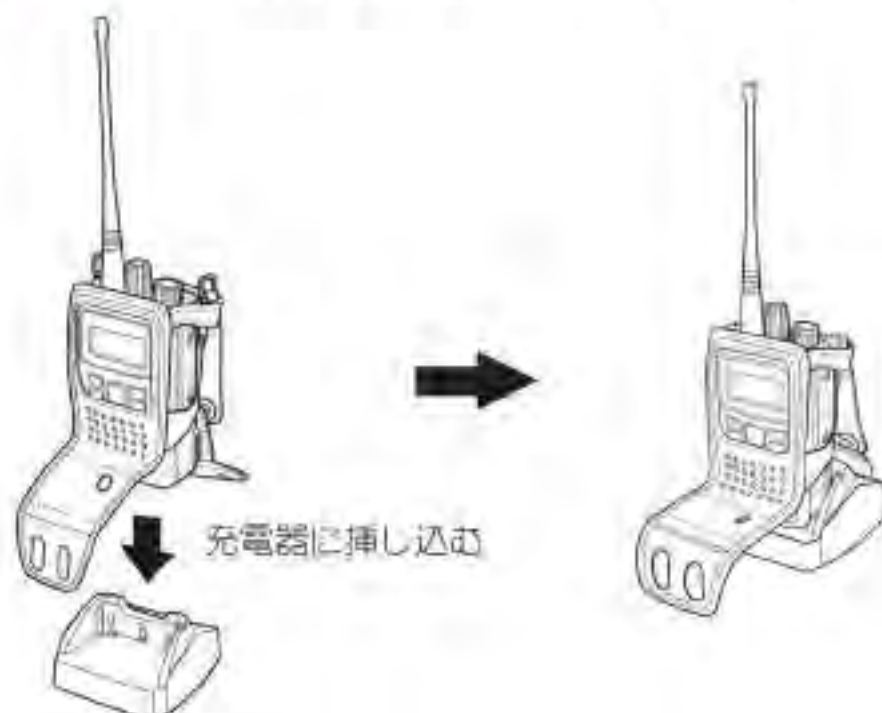


必要に応じて、キャリングケースの金具に、LCC-D450 に付属のショルダーベルトを取り付けます。



充電する際は、下図のようにキャリングケースの底面を開くだけで充電器にセットすることができます。

注意 背面カバーのボタンと充電器の端子をショートしないように注意してください。感電や充電器を破損することがあります。



故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？

修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

◎ 電源が入らない！

- ・ リチウムイオン電池パックまたはアルカリ乾電池が消耗していませんか？
 - ▶▶ リチウムイオン電池パック使用时
リチウムイオン電池パックを充電してください。
 - ▶▶ 乾電池ケース“FBA-34” 使用时
新しいアルカリ乾電池に交換してください。
- ・ リチウムイオン電池パックまたは FBA-34 の端子が接触不良になっていませんか？
 - ▶▶ 端子を乾いた布で拭いてください。
- ・ リチウムイオン電池パックが古くなっていますか？
 - ▶▶ リチウムイオン電池パックの寿命です。新しいリチウムイオン電池パックとお取り替えください。

◎ 送信できない！

- ・ PTT（通話）ボタンを正しく押していますか？
- ・ 送信出力の設定が“受信専用”になっていませんか？

◎ 通話できない！

- ・ 相手局と同じチャンネルに設定していますか？
- ・ 相手局との距離が離れすぎていませんか？
- ・ 相手局は同じデジタル簡易無線機ですか？
 - ▶▶ 無線機局識別コードが“3R”の無線機であるか確認してください。
- ・ 相手局と同じユーザーコードに設定していますか？
- ・ 秘話通信機能が動作していませんか？
 - ▶▶ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、交信することはできません。

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店または、下記までご相談ください。

八重洲無線株式会社 国内営業部

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル

電話：03-6711-4055

定 格

一般

送 受 信 周 波 数	： デジタル簡易無線登録局（6.25kHz 間隔、30 波） 351.20000MHz ～ 351.38125MHz		
電 波 型 式	： F1E / F1D		
通 信 方 式	： 単信（プレストーク）方式		
電 池 持 続 時 間	： FNB-V86 シリーズ		約 8 時間
	： FNB-V87 シリーズ		約 14 時間
	： FNB-V92 シリーズ		約 18 時間
	（送信出力 5W 時、送信 5、受信 5、待ち受け 90 の繰り返し）		
電 源 電 圧	： DC 7.4V ± 10%		
消 費 電 流	： DC 7.4V 送信時（出力 5W 時）		約 1.6A
	受信待ち受け時		約 80mA
	受信定格出力時		約 350mA
温 湿 度 範 囲	： 温度 - 20℃～+ 60℃		
	湿度 95%(35℃)		
本 体 寸 法	： 56mm × 96mm × 39mm(FNB-V86 シリーズ使用時)		
本 体 重 量	： 約 300g (FNB-V86 シリーズ, ベルトクリップ, アンテナを含む)		

※ RoHS 指令準拠

送信部

空中線電力：5W/1W(+ 20%、－ 50% 以内)
空中線インピーダンス：50 Ω 不平衡
発振方式：水晶発振制御による周波数シンセサイザー方式
周波数許容偏差： $\pm 1.5\text{ppm}$ 以内
変調方式：4 値 FSK
占有周波数帯域幅：5.8kHz 以下
最大周波数偏移： $\pm 1324\text{Hz}$ 以内
隣接チャンネル漏洩電力：－ 52dB 以下 (5W 時)
スプリアス発射： $2.5\mu\text{W}$ 以下
不要輻射： $2.5\mu\text{W}$ 以下
標準変調入力：－ 44dBm $\pm 5\text{dB}$
変調入力インピーダンス：600 Ω

受信部

受信方式：ダブルコンバージョンスーパーヘテロダイン方式
中間周波数：第一 50.85MHz
第二 2.304MHz
局発振周波数：第一 受信周波数－ 50.85MHz
第二 48.546MHz
局発周波数変動： $\pm 1.5\text{ppm}$ 以内
受信感度：－ 2dB μV (BER=1%)
スプリアスレスポンス：53dB 以上 (BER=1%)
隣接チャンネル選択度：6.25kHz 42dB 以上 (BER=1%)
相互変調特性：53dB 以上 (BER=1%)
スケルチ感度：－ 10dB μV 以下
低周波出力：0.7W 以上 (10% 歪時)
低周波出力インピーダンス：16 Ω
副次的に発する電波等の強度：4nW 以下

オプション

- ◎ 薄型リチウムイオン電池パック： FNB-V86 シリーズ
- ◎ 標準型リチウムイオン電池パック： FNB-V87 シリーズ
- ◎ 大容量リチウムイオン電池パック： FNB-V92 シリーズ
- ◎ 急速充電器： VAC-50A
- ◎ 連結型充電器： CD-51
- ◎ 連結型充電器用 AC アダプター： PA-47A
- ◎ 防水型スピーカーマイク： MH-66A7A
- ◎ GPS マイク： MH-84
- ◎ タイピンマイク&イヤホン： EK-505W
- ◎ 小型タイピンマイク&イヤホン： EK-313-581
- ◎ 咽喉マイク&イヤホン： EM-01-581
- ◎ 小型スピーカーマイク： EK-404-581
- ◎ イヤホンアダプター： EA-581
- ◎ EA-581 用イヤホン： ME-101/100CM
- ◎ アルカリ単3乾電池ケース： FBA-34
- ◎ ショート アンテナ： ATU-12J
- ◎ クイックリリースブラケット： CLIP-17B
- ◎ キャリングケース： LCC-D450

詳細等はカタログ及び八重洲無線株式会社のホームページ <http://www.yaesu.com/jp/> を参照してください。

索引

欧字

A

ACC 電源	55
ARIB 種別コード	12

G

GPS モード	56
---------------	----

L

LED インジケータ	7, 8
------------------	------

M

MIC/SP 端子	7
-----------------	---

P

PTT ボタン	7
---------------	---

R

RX ビープ	50
--------------	----

T

TX ビープ	50
--------------	----

U

UC	36
UC 通信	12, 13
UC ベル	37

かな

あ

アフターサービス	60
アンサーバック	30, 54
安全上のご注意	2
アンテナコネクタ	6

い

一斉呼び出し	22
--------------	----

お

お客様へ	1
オプション	63
オプションマイク	57
音量調節ツマミ	6

か

外部マイク	46
拡張機能	34, 44
各部の名前と機能	6
簡易無線局免許申請	5
簡易リスト	24, 27

き

キーロックボタン	7, 23, 48
機能ボタン	7, 24
キャリアセンス機能	26
キャリングケース	58
緊急個別 ID	41
緊急ボタン	6, 24
緊急モード	49

く

グループ ID	39
グループベル	40
グループ呼び出し	17, 22

こ

構成品	5
コールチャンネルボタン	24
コールチャンネル	6, 12
コールモード	34
故障かな?と思う前に	60
固定宛先	41
個別宛先	40
個別通信	12, 17
個別ベル	39
個別呼び出し	22

し

自局 ID	38
自局情報	29
弱電界アラーム	53
充電方法	11
使用形態にあわせた設定	5

せ

設定リセット	56
セットモード	44
全員を一斉に呼び出す	17
選択ボタン	7, 24

そ

送受信メニュー	24, 30
送信出力制限	52

た

タミーボード	9
--------------	---

ち

着信履歴	31
チャンネル構成	12

つ

通信方式	36
通信方法	14
通話方式	12
通話保持時間	42

て

定格	61
ディスプレイ	7, 8
デジタル簡易無線局	12
電源スイッチ	6
電池残量表示	55
電池の消耗	10

と

登録局	12
特定の相手だけを呼び出す	17

な

内部マイク	47
-------------	----

の

ノイズキャンセリング	7
ノイズキャンセル機能	52

は

バックライト	7
バックライトボタン	23
発信履歴	31

ひ

ビープレベル	46
秘話 ID	43
秘話通信機能	16

ふ

不在着信ベル	54
--------------	----

へ

ベルトクリップ	9
---------------	---

ほ

防水性	1
-----------	---

ま

マイク感度	46, 47, 57
-------------	------------

む

無線機情報	29
-------------	----

め

メッセージ	32
メンテナンス	1

も

戻るボタン	7
-------------	---

ゆ

ユーザーコード通信	12, 13
-----------------	--------

よ

呼び出しを受けたとき	22
------------------	----

り

リチウムイオン電池	
持続時間	10
リチウムイオン電池パック	10
リチウムイオン電池/パック	
のリサイクルについて	4
リピート再生	27
リセット	56

ろ

ロータリー	47
ロータリースイッチ	6
ローンワーカー	51
ローンワーカー機能	25
録音ボタン	7, 23
録音メモ	28

株式会社エクセリ
東京都中央区日本橋浜町2-30-1 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5
URL:<https://www.exseli.com/>

STANDARD

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入
いただいた販売店または、下記までご相談ください。

取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります。
詳しくは下記の URL をご覧ください。

販売：八重洲無線株式会社 国内営業部

〒 140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8

天王洲パークサイドビル

電話：03-6711-4055

URL：<http://www.yaesu.com/jp/>

製造：バーテックススタンダード LMR 合同会社



© 2012-2014 バーテックススタンダード LMR 合同会社
無断転載・複写を禁ず

中国印刷